

植付前の1回使用で、収穫までコガネムシ類幼虫を防除できます。

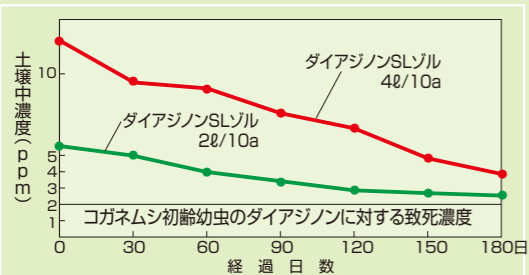


新しいタイプのマイクロカプセル製剤

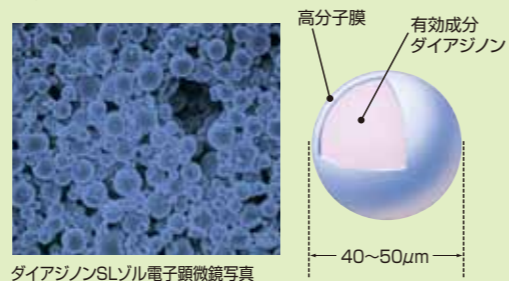
ダイアジノン[®] SLゾル

農林水産省登録：第17620号

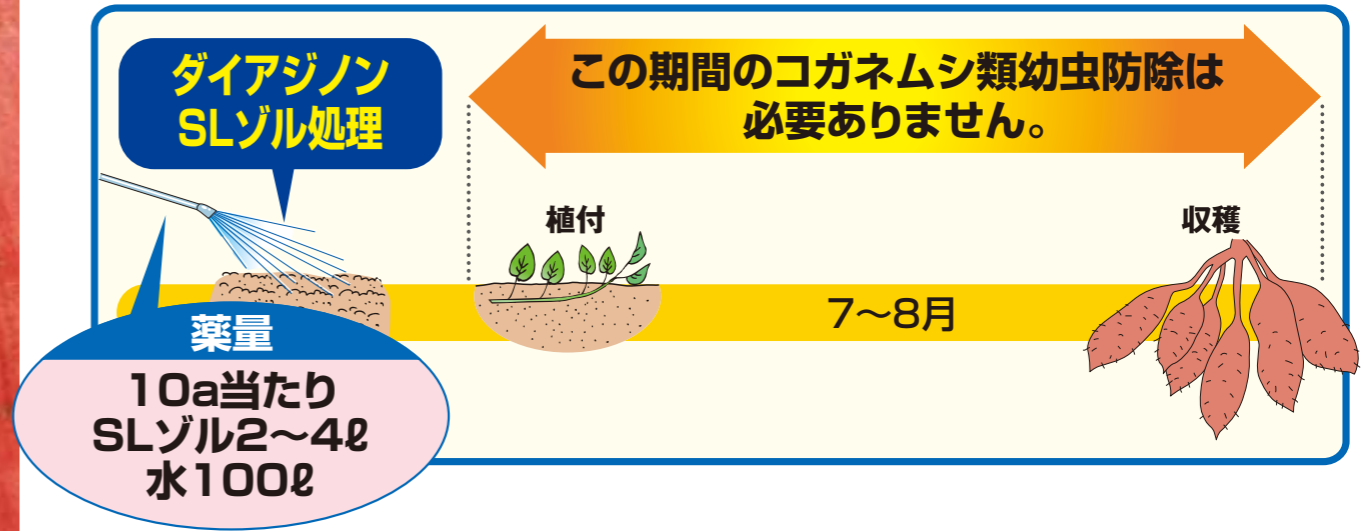
●ダイアジノンSLゾルの土壤中での消長 日本化薬(株)
ダイアジノンSLゾルは、土壤中では150～180日以上
の長期間にわたり効果を発揮します。



●マイクロカプセル製剤について
ダイアジノンSLゾルのマイクロカプセルは、平均粒径が40～50ミクロンの微粒子です。製剤は粘りのある白色の液体です。



©は日本化薬株式会社の登録商標です。



特長

- ① 1回の使用でコガネムシ類幼虫を150～180日以上防除。
ダイアジノンを高分子膜で包んだマイクロカプセル製剤のため、安定した状態で長期間保たれ、土壤中で150日から180日以上長期にわたり持続効果を発揮します。
- ② 毒性が大幅に軽減。
普通物の製剤です。
- ③ 低臭性の薬剤。
水ベースの製剤のため、散布時の臭いが少ない薬剤です。

●成分：ダイアジノン(PRTR・第1種)・・・25.0% ●毒性：普通物* *普通物とは毒劇物に該当しないものを指している通称。

適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数	
かんしょ	ナカジロシタバ	1,000倍	100～300ℓ/10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	3回以内	
	コガネムシ類幼虫	50倍	100ℓ/10a	植付前	1回	全面土壌混和 又は畝立前 作条散布	マイクロカプセル剤の植付前の 処理は1回以内、マイクロ カプセル剤の散布は2回以内、 粒剤の散布は2回以内	
		25倍						
		25～50倍						
		50倍						
		25倍						
いちご	50倍	1,000ℓ/10a	は種前 定植前(本圃) 植付時(仮植床)	1回	全面土壌混和	1回		
500倍	ポット育苗時							
つつじ類	25～50倍	100ℓ/10a	植付時	1回	育苗ポット灌注	2回以内		
ひのき(苗畑)、 すぎ(苗畑)	100倍	200～400ℓ/10a	植付前				全面土壌混和	
さくら	アメリカシロヒトリ	1,000倍	200～700ℓ/10a	発生初期	4回以内	散布	4回以内	
	シバツトガ、 スジキリヨトウ、 シバオサウムシ成虫							0.3ℓ/m ²
	ケラ							1ℓ/m ²
	シバオサウムシ幼虫							0.7～1ℓ/m ²
	コガネムシ類幼虫							1ℓ/m ²
樹木類	コガネムシ類幼虫	25倍	0.1ℓ/m ²	張り芝前	1回	土壌混和	1回	
		16g/培土m ³	400～2,000mℓ/培土m ³	鉢上げ時又は鉢代え時	培土混和			

特長

植付前の1回使用で、収穫までコガネムシ類幼虫を防除できます。

マイクロカプセル製剤



効果的な散布方法

●動力噴霧機散布

薬液が霧状に飛散しないようにノズルを調整してください。



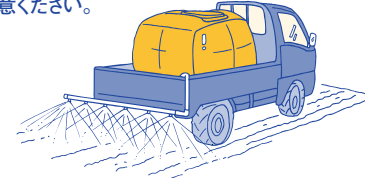
●乗用トラクター搭載散布

散布と土壌混和が同時にできます。



●軽トラック搭載散布

大容量のタンクを搭載できるため、大面積への散布に適しており、散布時間が短縮できます。
注) 半クラッチ走行は故障の要因となりますので、ご注意ください。



トラクター搭載散布の場合は、散布時に混和が同時に行なえます。

1 整地	2 薬剤希釈	3 薬剤散布	4 効果的な使い方	5 混和	6 植付
<p>散布前に畑の耕起、砕土を十分に行ない、ていねいに整地してください。</p>	<p>使用前にはボトルをよく振ってください。</p> <p>希釈後は直ちに散布してください。</p> <p>薬量 10a当たり SLゾル2~4ℓ 水100ℓ</p>	<p>畑の全面にまきむらのないよう均一に散布してください。薬剤のないところは効果がありません。</p>	<p>被害の多い圃場では、特に圃場の外周をていねいに散布してください。</p>	<p>散布後、なるべく早く混和してください。混和は15~20cmの深さで、圃場全面に均一になるようにしてください。</p>	

散布液の作り方

ダイアジノンSLゾルは粘りのある液体のため、2段階希釈がポイントになります。貯蔵中に沈殿を生じることがあるので、使用前にはボトルをよく振ってください。

- 希釈後は直ちに散布してください。
- 希釈後に静置した場合は、散布前に十分攪拌してください。

第1段階

1 ボトルの半分量のSLゾルをバケツなどにあけ、等量~倍量の水を加えてよく混ぜ合わせます。

2 ①を①のバケツに加え、よく攪拌します。ボトルにSLゾルが付着している場合には、もう一度水を入れ、よく振って洗浄し、バケツに加えてください。

第2段階

4 タンクにあらかじめ水を入れ、第1段階で作った希釈液を入れます。さらにバケツを洗浄した液もタンクに入れます。

5 所定量になるまで水を加え、よく攪拌してください。均一な散布液ができ上がります。

▲ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使い切ってください。
- 貯蔵中に沈殿を生じることがあるので、使用前に容器をよく振って使用してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ所定量の範囲内で調整してください。
- 本剤の散布薬液は希釈調整後できるだけ速やかに使用してください。希釈調整後に静置しておいた場合は、散布前に十分攪拌してください。
- コガネムシ類幼虫、シバオサゾウムシ幼虫に対して土壌注入処理をする場合には、農業を高圧噴射できるインジェクターを使用してください。
- コガネムシ類幼虫に対して散布処理をする場合には、コアリング時の目土前に処理してください。
- 樹木類の培土に処理する場合には、培土中に薬液が十分行き渡るように所定量の範囲内で使用量を調整し、培土とよく混和してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - ②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
 - 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
 - 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
 - 誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
 - 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤があります。
 - 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
 - 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温場所に密栓して保管してください。
- 低温時は保管場所に十分注意し、凍結を避けてください。

①使用前にはラベルをよく読んでください。 ②ラベルの記載以外には使用しないでください。 ③小児の手の届く所には置かないでください。 ④空容器は圃場等に放置せず、適切に処理してください。